6年生保護者の皆様へ

刈谷市立双葉小学校
校長 土 井 淳

全国学力・学習状況調査の調査結果について

本年、4月17日（木）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きましたので、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の概要をお知らせします。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および刈谷市教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮する」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、双葉小学校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。なお、本調査結果は本校のホームページに掲載します。

2 本校の概要

国 語	・満足できる状況である。よく定着している。 ・「思考・判断・表現」「情報の扱い方に関する知識・技能」が高い。 ・「話すこと・聞くこと」特に、目的や意図に応じて、話題を決め、分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することがよくできている。 ・今後は、目的に応じて、必要な情報を正しく使う力を伸ばしていきたい。
算 数	・十分満足できる状況である。よく定着している。 ・「知識・技能」「思考・判断・表現」のいずれも高い。 ・「数と計算」「データの活用」がよく身に付いている。特に、「グラフを選択して数値の増減を判断し、その理由を記述すること」がよくできている。
理 科	・満足できる状況である。よく定着している。 ・「思考・判断・表現」「エネルギーを柱とする領域の知識・技能」が高い。 ・特に、金属の通電や磁化の分類、電気回路の実験方法を正しく導き出すことがよくできている。 ・今後は、顕微鏡で適切な像を見る技能、自然界の差異点や共通点を基に新たな課題を見だし表現する力を伸ばしていきたい。
児 童 質 問 紙	・朝食を毎日食べたり、同じ時間に就寝できたりしている児童が多い。 ・学校の授業時間以外に読書をしたり、新聞を読んだりしている児童がやや多い。 ・「人が困っているときは進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけない」という児童の割合が高く、人を思う心が育っていると考える。 ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童の割合が高い。 ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていると答えている児童の割合がやや低い。 ・学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている、また、授業で学んだことを他の学習で生かしていると答えている児童の割合がやや低い。

※ 全国・県平均に比べ無回答率が低く、前向きに取り組もうとする児童が多い